

外国人集住都市会議 いいだ 2011

多文化共生社会をめざして

くすべての人がつながり
ともに築く地域の未来く

と き 11月8日(火)
ところ シルクホテル



外国人集住都市会議の概要

1. 設立趣旨

外国人集住都市会議は、ニューカマーと呼ばれる南米日系人を中心とする外国人住民が多数居住する都市の行政並びに地域の国際交流協会等をもって構成し、外国人住民に係わる施策や活動状況に関する情報交換を行うなかで、地域で顕在化しつつある様々な問題の解決に積極的に取り組んでいくことを目的として設立するものである。

また、外国人住民に係わる諸課題は広範かつ多岐にわたるとともに、就労、教育、医療、社会保障など、法律や制度に起因するものも多いことから、必要に応じて首長会議を開催し、国・県及び関係機関への提言や連携した取り組みを検討していく。

こうした諸活動を通して、分権時代の新しい都市間連携を構築し、今後の我が国の諸都市における国際化に必要な外国人住民との地域共生の確立をめざしていく。

(2001年5月7日)

2. 開催経緯

2001年5月7日、浜松市で第1回会議を開催し、設立趣旨を了承。その後、担当省会議を重ね、同年10月19日、「外国人集住都市公開首長会議」を浜松市で開催し、外国人住民との地域共生に向けた「浜松宣言及び提言」を採択。11月30日には、総務省、法務省、外務省、文部科学省、文化庁、厚生労働省、社会保険庁の5省2庁に「浜松宣言及び提言」の申し入れを行った。

2002年度は、前年度と同じく浜松市で第1回会議を開催後、関係省庁と会員都市首長の意見交換の場となる会議の開催を決議し、担当省会議を重ねるなかで、11月7日に「外国人集住都市東京会議」を東京都内で開催し、「14都市共同アピール」を行った。

2003年度は、豊田市で第1回会議を開催後、担当省会議を重ね、11月11日に厚生労働省、日本経団連、JICA研修員を交え「外国人集住都市会議シンポジウム in 豊田」を開催した。

2004年度は、前年度同様豊田市で第1回会議を開催後、担当省会議を重ね、10月29日に豊田市で関係省庁ならびに日本経団連と会員都市首長の意見交換の場となる「外国人集住都市会議 in 豊田」を開催し、「豊田宣言及び部会報告」を採択し、日本経団連の奥田会長の記念講演を実施した。

2005年度は、多くの課題の中で最も緊急性の高い「子ども」に焦点をあて、四日市市が座長を務める2年間のテーマを「未来を担う子どもたちのために」とした。11月11日に「外国人集住都市会議 よっかいち 2005」を、外国人当事者やNPO代表の参加も得て開催した。また、豊田宣言をベースに「規制改革要望書」を提出し、要望内容に対して関係省庁からの正式な回答を得た。

2006年度は、前年度に引き続き、同じテーマで調査・研究を進め、6月と10月に「規制改革要望書」を提出するとともに、11月21日に「外国人集住都市会議 東京 2006」を開催し、「よっかいち宣言」を採択した。

2007年度は、美濃加茂市が座長になり、3ブロックに分かれ、「地域コミュニティ」、「外国人の就労」、「外国人児童生徒の教育」について研究、規制改革要望を行った。国の在留管理制度の見直しに即時対応するためにプロジェクトチームを結成。職員間の情報交換や、諸制度や課題への理解を深めるため、太田市・大泉町にて担当職員研修会を開催した。11月28日に美濃加茂市で「外国人集住都市会議 みのかも2007」開催。

2008年度は、昨年度に引き続き、同じテーマで調査・研究を進め、6月及び11月に規制改革要望を行った。また、10月15日「外国人集住都市会議東京 2008」を開催し、「みのかも宣言」を採択した。

2009年度は、太田市が座長になり、3ブロック体制で、「正しく伝えること、伝わること」、「大人の日本語学習の仕組みづくり」、「外国人市民と共に構築する地域コミュニティ」について研究。6月には規制改革要望を行った。11月26日に太田市で「外国人集住都市会議 おおた 2009」を開催。景気低迷で外国人住民の雇用や教育、帰国支援といった問題が表面化する中、外国人の子どもの就学の義務化などを盛り込んだ国への緊急提言を採択した。

2010年度は、前年度に引き続き同じテーマについて研究を重ね、テーマごとに国や関係機関への提言をまとめた。11月8日に東京で「外国人集住都市会議東京 2010」を開催し、各ブロックの研究報告及び提言、「おおた宣言」の採択、外国人集住都市会議会員28都市間で「災害時相互応援協定」を締結した。

2011年度は飯田市が座長になり、3ブロック体制で「多文化共生社会における防災のあり方」「外国人の子どもの教育について」「外国人住民とともに構築する地域コミュニティ」について研究。同時に今年3月に国が策定した「日系定住外国人施策に関する行動計画」についても検証を行い、緊急を要する課題について国に対して7月に提言書を提出した。11月8日に飯田市で「外国人集住都市会議 いいだ2011」を開催。

外国人集住都市会議 会員都市首長プロフィール

凡 例	
	都市名
	氏 名 ふりがな 【生年月日】
	経 歴
多文化共生社会実現の為に必要と考えること、取り組み・方針など。	



群馬県伊勢崎市

五十嵐 清 隆 いがらし きよたか
【1952年 9月22日生】

前 職	群馬県議会議員
就 任 年	2009年 1月
当選回数	1 期目

伊勢崎市は、群馬県内で最も多くの外国籍住民の方が暮らしています。言語や文化、習慣の違いを乗り越えて、日本人と外国籍住民が地域の一員として暮らせるまちづくりの推進に努めてまいります。



群馬県太田市

清 水 聖 義 しみず まさよし
【1941年12月 7日生】

前 職	群馬県議会議員
就 任 年	2005年 4月（旧太田市長、1995年～2005年）
当選回数	2 期目（旧太田市長、3 期）

外国人市民相談窓口の開設、ボランティア団体と連携した日本語教室の開催、バイリンガル教員の配置、日本語指導助手の充実等外国人への支援を進めて参りました。今後、多文化共生を市民に発信して行くなかでお互いの理解を深めてゆくことが重要と考えております。



群馬県大泉町

斉 藤 直 身 さいとう なおみ
【1936年 5月19日生】

前 職	（社）群馬県歯科医師会副会長
就 任 年	2009年 5月
当選回数	1 期目

総人口の約15%の外国人が登録している大泉町では、制度や習慣、文化など、日本で暮らすための必要な情報を正しく理解して頂くことが秩序ある多文化共生の基本と考え、試行錯誤の中でさまざまな事業を展開しています。



長野県上田市

母 袋 創 一 もたい そういち
【1952年 7月 6日生】

前 職	長野県議会議員
就 任 年	2006年 4月（旧上田市長、2002年～2006年）
当選回数	2 期目（旧上田市長、1 期）

親世代の定住化の進行に伴い、「第二世代」となる外国籍の子どもたちへの教育が重要な課題となっています。子どもたちが将来の生活設計を描くためにも、国と自治体が連携して、学習言語としての日本語が習得できるような体制を築いていく必要があると考えています。



長野県飯田市

牧 野 光 朗 まきの みつお
【1961年 8月16日生】

前 職	日本政策投資銀行大分事務所長
就 任 年	2004年10月
当選回数	2 期目

リニア中央新幹線の開通を見据えた飯田市の将来像「小さな世界都市」実現のためにも、多文化共生社会の推進が重要となってまいります。市民・関係団体・事業所等と協働して様々な取り組みを進めながら、新しい地域文化の創造をめざします。



岐阜県大垣市

小 川 敏 おがわ びん
【1950年11月15日生】

前 職	会社役員
就 任 年	2001年 4月
当選回数	3 期目

ものづくりが盛んな大垣市において、その担い手として重要な役割を果たす外国人住民を地域社会の構成員として受入れ、外国人を含めた全ての市民が能力を発揮できる多文化共生社会を推進してまいります。



岐阜県美濃加茂市

渡 辺 直 由 わたなべ なおよし
【1945年 8月 6日生】

前 職	岐阜県教育委員会委員長
就 任 年	2005年 9月
当選回数	2 期目

「みのかも定住自立圏共生ビジョン」のもと、より広域的・効率的に地域振興と市民協働を促進するため、外国人住民のためだけでなく、魅力ある圏域づくりの地域資源の一つとして多文化共生社会の構築をめざします。



岐阜県可児市

富 田 成 輝 とみだ しげき
【1953年 1月17日生】

前 職	岐阜県環境生活部長
就 任 年	2010年11月
当選回数	1 期目

「みんなで作る多文化共生のまち可児」を基本理念に、本年 3 月『可児市多文化共生推進計画』を策定しました。計画で示した施策を着実に取り組み、全ての市民が共に安心して暮らせる多文化共生のまちを目指します。



静岡県浜松市

鈴木 康友

すずき やすとも
【1957年8月23日生】

前 職	衆議院議員
就 任 年	2007年 5月
当選回数	2 期目

浜松市は7月1日に市制100周年を迎え、新たな一步を踏み出す記念すべき年となりました。多文化共生社会を実現するために、平成23年度より3ヵ年計画で外国人の子どもの教育環境充実のための「多文化共生事業不就学ゼロ作戦」に取り組んでいます。



静岡県磐田市

渡 部 修

わたなべ おさむ
【1951年4月16日生】

前 職	磐田市議会議員
就 任 年	2009年 4月
当選回数	1 期目

磐田市では「互いのちがいを認め合う 多文化共生のまちづくり」を基本理念に、国籍を問わず、外国人市民も地域社会を支えていくパートナーであると考え、共に築く、笑顔あふれる、活気のあるまちづくりを目指しています。



静岡県袋井市

原 田 英之

はらだ ひでゆき
【1943年1月12日生】

前 職	静岡県健康福祉部長
就 任 年	2005年4月（旧袋井市長、2001年～2005年）
当選回数	2 期目（旧袋井市、2 期）

外国人住民と地域住民がコミュニティ活動や防災活動などとお互い、「顔の見える関係」を築くとともに、日本語支援教室の開催など市民と行政が協働して多文化共生社会の実現に向けて取組を進めています。



静岡県菊川市

太 田 順 一

おおた じゅんいち
【1950年4月28日生】

前 職	菊川市議会議員
就 任 年	2005年 1月（旧菊川町長1998年～2005年）
当選回数	2 期目（旧菊川町長、2 期）

本市では、「安心して安全に暮らせるまちづくり」を目指しており、行政と地域が協力して「顔の見える関係づくり」や「正しい情報を伝える」取り組みに力を入れ、地域力を高める中で共生社会づくりを進めています。



愛知県豊田市

鈴木 公平

すずき こうへい
【1939年3月20日生】

前 職	豊田市助役
就 任 年	2000年 2月
当選回数	3 期目

「人が輝き 環境にやさしく 躍進するまち・とよた」を将来都市像に掲げ、市民力や地域力を生かした「共働」によるまちづくりを進めています。多文化共生社会の実現に向けて、この「共働」により各種の施策を推進しています。



静岡県富士市

鈴木 尚

すずき ひさし
【1946年11月21日生】

前 職	静岡県議会議員
就 任 年	2002年 1月
当選回数	3 期目

富士市では、平成22年度末「富士市国際化推進プラン」を策定しました。市内在住の外国人市民と日本人市民が、互いの文化や習慣を理解し、心通い合う多文化共生社会の実現に向けて、様々な施策を推進しています。



静岡県掛川市

松 井 三 郎

まつい さぶろう
【1946年10月6日生】

前 職	静岡県議会議員 当選（当選2回5年9か月間）
就 任 年	2009年 4月
当選回数	1 期目

掛川市は、総人口の約4％が外国人市民で、その内、定住外国人は約83％を占めています。市では、H22年度に多文化共生推進プランを策定し、行政だけでなく市民や企業との連携の下、住み良い都市づくりを目指しています。



静岡県湖西市

三 上 元

みかみ はじめ
【1945年1月5日生】

前 職	(株) 船井総合研究所取締役
就 任 年	2004年12月
当選回数	2 期目

湖西市では、平成23年度からスタートした「多文化共生推進プラン」の基本理念「みんなが笑顔でくらす多文化共生まちづくり」を実現するための施策を実施し、日本人市民と外国人市民との住みやすい共生社会づくりを進めています。



愛知県豊橋市

佐 原 光 一

さはら こういち
【1953年11月10日生】

前 職	国土交通省中部地方整備局副局長
就 任 年	2008年11月
当選回数	1 期目

「ともに生き、ともにつくる」を基本理念とした第5次豊橋市総合計画を本年3月に策定しました。その中でも多文化共生社会の推進は重点項目の1つであり、相互理解を基本とした住みよい地域づくりを進めています。



愛知県小牧市

山下 史守朗

やました しずお
【1975年7月6日生】

前 職	愛知県議会議員
就 任 年	2010年 2月
当選回数	1 期目

小牧市では、内陸工業都市としての発展と共に、それを支える労働力として外国人が増加し、現在も多数の方が居住しています。今年度、多文化共生推進プランの施行にあたり、市民・企業・行政が協力して、多文化共生社会の創造に取り組めます。



愛知県知立市

林 郁 夫

はやし いくお
【1960年6月1日生】

前 職	知立市議会議員
就 任 年	2008年12月
当選回数	1 期目

異なる文化とふれあい、交流する機会を提供しながら、文化の違いへの理解を高め、幅広い視野と人間味あふれる地域社会づくりに向けた取り組みを推進していきます。また、個性を大切にする地域社会づくりをめざしています。



三重県津市

前 葉 泰 幸

まえば やすゆき
【1962年4月7日生】

前 職	地方公共団体金融機構
就 任 年	2011年4月
当選回数	1 期目

地域で生活する全ての住民が、多様な文化や価値観を認め合う多文化共生社会の実現に向けて、意識啓発やコミュニケーション能力の向上、生活環境支援事業の更なる充実を図っていきます。



三重県四日市市

田 中 俊 行

たなか としゆき
【1951年10月27日生】

前 職	三重県議会議員
就 任 年	2008年12月
当選回数	1 期目

外国人も地域の一員として参画する地域コミュニティづくりを重視した施策を実施しています。誰もが対等な構成員となる「社会統合」の実現による「日本人も外国人も共に暮らしやすいまちづくり」を目指します。



三重県鈴鹿市

末 松 則 子

すえまつ のりこ
【1970年11月14日生】

前 職	三重県議会議員
就 任 年	2011年5月
当選回数	1 期目

鈴鹿市での外国人住民は減少傾向にあるものの、定住化がみられ、様々な場面で日本語の必要性が高まっています。国、県、企業、関連団体等と連携しながら、外国人住民にも伝わりやすい日本語の検討に努めたいと思います。



三重県亀山市

櫻 井 義 之

さくらい よしゆき
【1963年2月25日生】

前 職	三重県議会議員
就 任 年	2009年2月
当選回数	1 期目

亀山市に住む外国人と日本人とが共に安心して暮らしていくために、今後も、日本語教室を開催するとともに、市民活動団体と協力し、活発な市民交流活動を推進していきます。また、生活の利便性を高めるための情報を積極的に発信・提供します。



三重県伊賀市

内 保 博 仁

うちほ ひろひと
【1943年9月1日生】

前 職	伊賀市副市長
就 任 年	2008年11月
当選回数	1 期目

生活相談窓口の設置など外国人の自立に向けた取り組みに努めています。また、外国人住民と地域住民が共に理解しあい、外国人住民の声に耳を傾け市政へ反映し、共生できる地域社会づくりを進めます。



長浜市

藤 井 勇 治

ふじい ゆうじ
【1950年2月27日生】

前 職	衆議院議員
就 任 年	2010年3月
当選回数	1 期目

外国人を取り巻く課題は地域だけのものではなく、国と自治体、関係団体が連携して取り組む必要があり、すべての人が地域の一員として平和に共存することができるまちづくりの推進に努めます。



滋賀県甲賀市

中 嶋 武 嗣

なかじま たけし
【1948年1月2日生】

前 職	滋賀県議会議員
就 任 年	2004年10月
当選回数	2 期目

言葉や慣習などの課題がある一方で、市民の一人として活躍したいという外国人住民の皆さんも多く、様々な活動の場が生まれています。また、今年から小学校区を単位とした新しいコミュニティ制度を創設し、地域住民の一人として各種事業に参画できる機会も増やすなど、相互理解を深め、真の共生を目指して取り組んでいます。



滋賀県湖南市

谷 畑 英 吾

たにはた えいご
【1966年9月11日生】

前 職	滋賀県職員
就 任 年	2004年11月（旧甲西町長、2003年～2004年）
当選回数	2 期目（旧甲西町長、1 期）

外国人住民も地域社会の構成員として「地域社会を支える主体」として認識を持ち、互いの人権を尊重し、文化や生活習慣の違いを理解し合える社会の実現をめざし、今年度は多文化共生推進プランの策定に取り組んでいます。



岡山県総社市

片 岡 聡 一

かたおか そういち
【1959年8月2日生】

前 職	国会議員（橋本龍太郎元首相）秘書
就 任 年	2007年10月
当選回数	2 期目

昨年誕生した総社ブラジリアンコミュニティは、外国人を暖かく受け入れ共に暮らしていこうとする総社市の目指す多文化共生の象徴です。今後も就労・福祉・医療等、様々な分野で真心込めた事業を推進します。総社市は全ての人にウェルカムです！

外国人集住都市会議 アドバイザープロフィール



い ぐち やすし
井 口 泰

関西学院大学教授
少子経済研究センター長

1976年、一橋大学経済学部卒、労働省入省。1980～1982年、独・エアランゲン・ニュルンベルク大学留学。1992年、労働省外国人雇用対策室企画官。1994年、同外国人雇用対策課長。1995年、労働省退職、関西学院大学経済学部助教授。1997年、同教授。99年、博士号取得。2001～2002年、独・マックス・プランク研究所客員研究員。2006年～2010年、規制改革会議専門委員。主要著作：『外国人労働者新時代』（ちくま新書）『世代間利害の経済学』（八千代出版）ほか。



や ま わ き け い そ う
山 脇 啓 造

明治大学教授

東京大学法学部卒業、コロンビア大学国際関係・公共政策大学院修了。専門は移民政策・多文化共生論。

総務省、法務省、文部科学省、外務省、国土交通省の外国人施策関連委員を歴任。また、愛知県多文化共生推進プラン検討会議座長、宮城県多文化共生推進条例策定懇話会座長、東京都地域国際化推進検討委員会委員長等、数多くの地方自治体の外国人施策関連委員も歴任。

主著に『歴史の壁を超えて一和解と共生の平和学』（共編、法律文化社）、『多文化共生の学校づくりー横浜市立いちょう小学校の挑戦』（共編、明石書店）等。

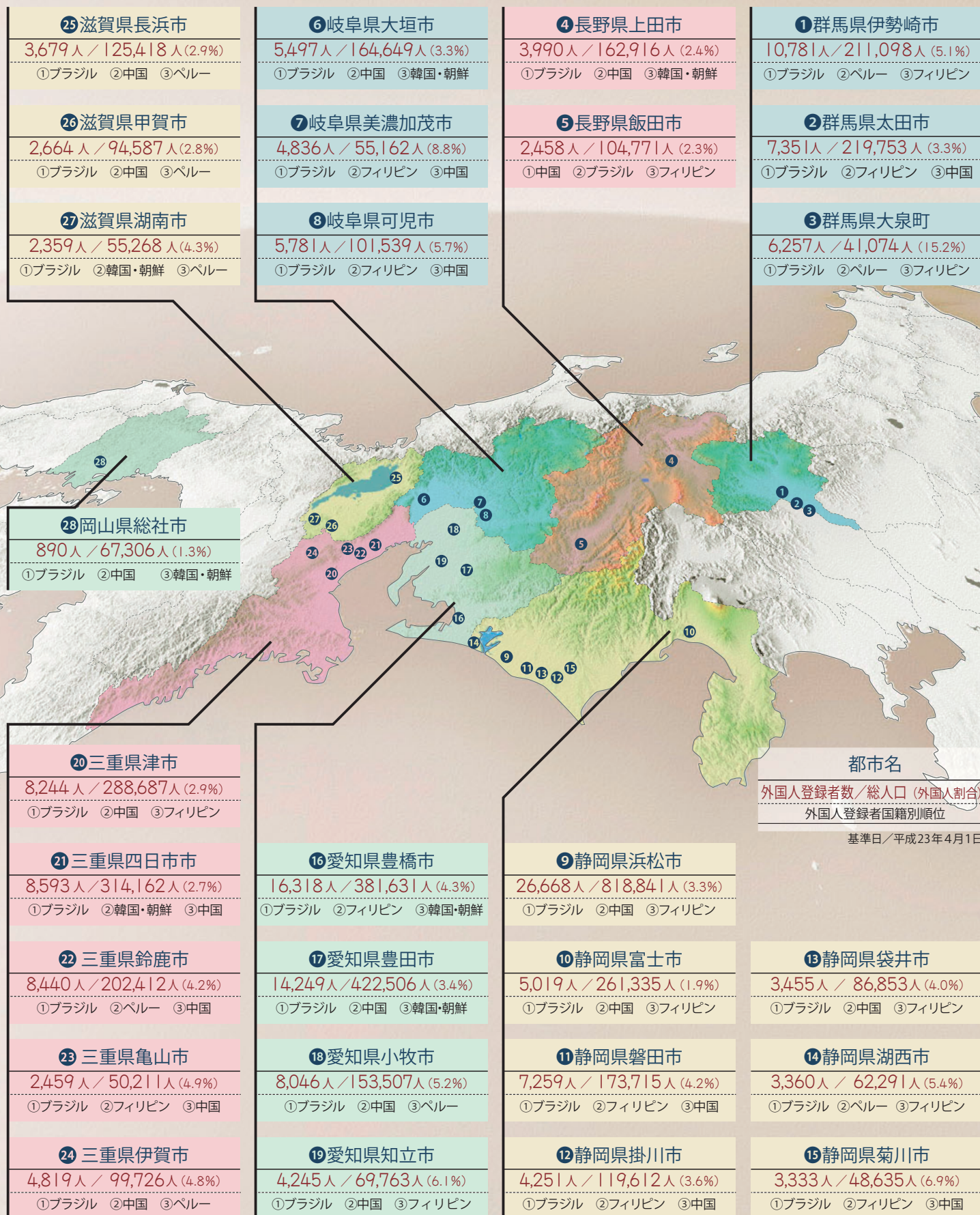


い け が み し げ ひ ろ
池 上 重 弘

静岡文化芸術大学教授
国際文化学科長

北海道大学文学部卒業、同大学院文学研究科修了。北海道大学文学部助手、静岡県立大学短期大学部専任講師、静岡文化芸術大学文化政策学部准教授を経て現職。専門は文化人類学、多文化共生論。静岡県多文化共生審議会委員、浜松市外国人子ども支援協議会会長、磐田市多文化共生社会推進協議会会長等。主著に、『ブラジル人と国際化する地域社会ー居住・教育・医療ー』（編著、明石書店）、『国際化する日本社会』（共著、東京大学出版会）。

外国人集住都市会議会員都市の外国人登録者データ



外国人集住都市会議プログラム

時 間	内 容
9 : 45	開場・受付開始
10 : 30	開会・座長あいさつ（飯田市長） 来賓紹介、祝電披露 総合司会：池上 重弘氏 （静岡文化芸術大学教授）
10 : 50	第 1 部 外国人住民をとりまく現状と 外国人集住都市会議のとりくみについて (1) 外国人集住都市会議のとりくみの紹介（飯田市長） (2) 各ブロック研究の方向について - 群馬・静岡ブロック「多文化共生社会における防災のあり方」（大泉町長） - 長野・岐阜・愛知ブロック「外国人の子どもの教育について」（大垣市長） - 三重・滋賀・岡山ブロック「外国人住民とともに構築する地域コミュニティ」（津市長）
11 : 15	第 2 部 「日系定住外国人施策に関する行動計画」についての分野別討議 (1) 行動計画に関わる施策についての説明（内閣府） (2) その 1 三重・滋賀・岡山ブロック 研究内容報告・提言と討議 「日本語で生活できるために必要な施策」「安定して働くために必要な施策」 （登壇者）三重・滋賀・岡山ブロック首長 法務省、外務省、厚生労働省、文化庁 コーディネーター：井口 泰氏 （関西学院大学教授）
12 : 30	休憩・昼食
13 : 30	(3) その 2 長野・岐阜・愛知ブロック 研究内容報告・提言と討議 「子どもを大切に育てていくために必要な施策」 （登壇者）長野・岐阜・愛知ブロック首長 文部科学省 コーディネーター：池上 重弘氏
14 : 30	休 憩
14 : 45	(4) その 3 群馬・静岡ブロック 研究内容報告・提言と討議 「社会の中で困ったときのために必要な施策」「推進体制ほか必要な施策」 （登壇者）群馬・静岡ブロック首長 内閣府、総務省、法務省、外務省、厚生労働省 コーディネーター：山脇 啓造氏 （明治大学教授）
15 : 50	いいだ2011メッセージ（飯田市長）
16 : 00	閉 会

※内容などにつきましては、変更となる場合があります。

同時開催

10 : 30 ～ 16 : 00	多文化共生をめざして活動する国際交流団体等パネル展
-------------------------	---------------------------

外国人集住都市会議会員都市
伊勢崎市・太田市・大泉町・上田市・飯田市・大垣市・美濃加茂市・可児市・浜松市・富士市・磐田市・掛川市・袋井市・湖西市・ 菊川市・豊橋市・豊田市・小牧市・知立市・津市・四日市市・鈴鹿市・亀山市・伊賀市・長浜市・甲賀市・湖南市・総社市